

# 共にしあわせ産みだす党 日本共産党 市議団ニュース

第1892号 2018年10月14日

日本共産党 根室市議団

根室市宝林町4-203 TEL23-6023

2018年10月から、生活保護の基準額の見直しがされました。

5年ごとに見直しされますが、政府は2013年にも総額890億円もの引き下げを実施しており、立て続けの大改悪となります。



## 生活保護の基準額 10月から引き下げに

今回の改定について政府は「一般低所得世帯との消費実態との均衡を図る」と説明していますが、このまま削減を繰り返していれば、貧困層がますます困窮化する負の連鎖が止まりそうにありません。

ところで、根室市の場合はどうなったのでしょうか？

実は今回の見直しはとても複雑な仕組みで、支給される金額は世帯構成によって上がる場合と下がる場合があるそうです。例えば、根室市の試算では高齢者単身世帯では月額920円増額です。一方で母子三人世帯では月額630円減額になるそうです。

しかし3年かけて徐々に引き下げられるので、来年・再来年と減額が大きくなっていきます。特に母子加算の減額により、子一人と親一人の二人世帯が大きな影響を受けるのではないかと考えられます。

ただし根室市全体で見ると、月額1万円の児童養育加算が高校生まで拡充されたため、総額は増加するのではないかと、市の担当課では予測していました。

なお今回の改定によって国の負担は3年間で約160億円削減となるそうです。

生活保護は国民の権利です。国はこれまで、雇用を不安定化し、医療や介護の負担を増やし、年金を引き下げてきました。その結果として、日本の生活保護受給者が増えてきました。

だからといって今度は、最後の社会保障の生活保護を減額するとは、命に関わる問題であり許せません。また日本の保護の捕捉率は他の先進諸国より低く2割程度しかないという指摘もあります。

いづれにしても、生活保護が本当に必要な人にとり、必要な時にしっかりと支給できるように、社会保障の改善を国に対して強く求めたいです。

### 10月定例月議会

10月23日(火) 10時～  
代表質問

10月24日(水) 10時～  
一般質問

10月25日(木) 10時～  
総務・文教厚生常任委

10月26日(金)  
10時～予算審査特別委  
16時30分～本会議

10月30日(火) 10時～  
一般会計決算審査特別委  
～11月2日(金)まで  
各企業・特別会計  
決算審査特別委  
～11月1日(木)まで

11月5日(月) 17時～  
本会議

※「市議団ニュース」(No.1891)に紹介した議会日程で日時の記載誤りがありました。以上のように訂正します。大変申し訳ありません。

## 春国岱の自然と保護のあり方を学ぶ

根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会 研修会

10月10日、根室管内一市四町の議会で構成する「根室地方森林・林業・林産業活性化推進議員連盟協議会」の研修会が根室市で開催され、約50名の市議・町議らが参加しました。

二ホロで行われた研修では、根室市歴史と自然の資料館の外山学芸員が「多様な生物を育むところ」春国岱の今・昔の成り立ちから、鳥や植物など多様な生態系に触れられる素晴らしい場所であることを説明されました。

しかし、2006年の爆弾低気圧などによりアカエゾマツ林が大きく被害を受けてきたこと、増えたエゾシカの食害でハマナスが小さくなってしまし、そこに暮らす昆虫や鳥もいなくなってきたそうです。

この状況に対して、外山学芸員と市担当課、ワイズユースの会が協力して、ハマナス群落の一部を保護する鹿よけ柵を設置しました。数年かけて、エゾシカの食害から守られたハマナスが再び大きくなり、昆虫も増えてきたことを実証しました。

ただし外山学芸員は、柵で囲うことは本質的な対策ではなく、根本的にエゾシカの食害を減らすための対策を行う必要があることを強調します。

研修の後、参加者は移動し、春国岱の自然を現況を視察しました。

